ごんた坂

第9号

～光陵会同窓会報～

＜発行所＞
神奈川県立光陵高等学校
光陵会

＜印刷所＞
株式会社アーツ

2004年度 光陵祭

光陵会会長　太田　秀和

第9号をお届けします。

今、世の中はめまぐるしく動いています。

光陵会の会員の皆さんも、それぞれの道をそれぞれのスピードで歩んでいると思います。

高校時代は、はるかな昔のことと思っている方もいるでしょう。しかし我々会員にとって光陵高校は不変です。輝かしい歴史上の出来事で、現在の私達を形づくってくれた空間であり、時間でした。

過去に浸る気はありません。前に向かって進んでいきます。でも、ちょっぴり振り返って微笑んで、また進みたいです。ページ上の光陵祭の写真をご覧ください。この写真の中に間違いなく皆さんがいて、輝いていました。

会員の皆さんにとって、この会報誌が輝いていた時代を思い起こし、今を進むエネルギーになれたら幸いです。

この手作り会報をつくってくれた光陵会のスタッフの皆さんに感謝します。

そして何より会員の皆さんのご活躍と光陵高校のご発展を心から願っております。

校長　田邊　克彦

満開の桜のもと、四月に、県教育委員会から光陵高校に着任いたしました。五月に行われた体育祭では生徒の応援合戦に、十月の光陵祭では自律した生徒の活動に触れ、学校にきたと言う実感が湧くとともに、生徒からたくさんの感動をもらい、教員としての幸せを感じております。

本校は、「光陵われをつくり、われら光陵をつくる」の精神のもと歴史を重ね、来年には、高校改革が進む中で４０年の節目を迎えます。入学者選抜においても、学区がなくなり、これから入学してくる生徒には、今までの伝統に加えて新たな光陵高校の魅力と特色を提供する必要があります。そのひとつとして、卒業生の皆様が培われた豊富な知識や経験を、後輩の生徒に伝えていただける機会（先輩による授業など）を設けることなどを検討し、その組織づくりをすることや、４０周年記念行事を実施するための準備委員会も発足させますので、その折には、皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

2003年度光陵会役員

会　長	太田　秀和（２期生）	会計監査	上原　武(25期生)/高橋　芳昌(33期生)
副会長	高木　寛奈(33期生)/澤瀬　翔一(34期生)	理　事	古藤田謙治（５期生)/藤原　真人(22期生)
会　計	猪瀬　奈々(33期生)/長倉　洋子(35期生)		柿崎　祐一(25期生)/仁部　智幸(25期生)
書　記	関口　慎吾(33期生)/竹生田　恵(33期生)		藤原　直人(31期生)

平成16年度　光陵会総会・懇親会のご案内

今年も権太坂、光陵高校での開催が決定!!

来る11月20日(土）に光陵会総会・懇親会を開催いたします。昨年大好評を頂きました母校・光陵高校での開催ですが、今年も光陵高校での開催が決定いたしました。是非この機会に、懐かしい母校を訪れ、高校時代を思い出してみては如何でしょうか。

佐々木良先生の記念講演

昨年も大好評を頂きました、懐かしの先生による講演を今年も行います。今年は、国語科の佐々木良先生に「漢文とわたし（愛のことば ～杜甫と陸游～)」というテーマで講演を行っていただくことになりました。当時、授業を受けられた方はもちろんのこと、初めての方も必見です。

アニバーサリー期

今年、ご卒業30年、25年、20年、10年にあたる「6期、11期、16期、26期」の皆様には「卒業アニバーサリー期」として特に多くお集まりいただきたく、当時担任をされていた先生にご出席を予定いただいております。お世話になった先生を囲んで、思い出話に花を咲かせてください。

ワークピア横浜にて懇親会開催

総会・記念講演後、山下公園そばのワークピア横浜へタクシー（光陵会で用意します）で移動し、懇親会を行います。世代を越えた光陵高校の卒業生が一同に集まる楽しい宴会です。懐かしい再会と新しい出会いがきっとあるはず。是非、ご参加ください。

○　総　会

・日時　平成16年11月20日(土)　14：00
　(13：30より受付)

・場所　「光陵高校 視聴覚室」
　(横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1)

上履きは各自でご用意ください。

○　懇親会

・日時　平成16年11月20日(土)　17：00
　(16：30より受付)

・場所　「ワークピア横浜」
　(横浜市中区山下町24-1)

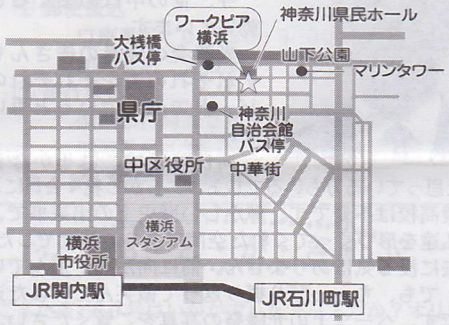
・会費

特別会員（現旧教職員）…… ￥5,000
一般料金…… おひとり ￥7,000
夫婦料金…… ご夫婦で ￥10,000
学生料金…… おひとり ￥3,000

※　夫婦料金は、パートナーの方が光陵卒でなくても結構です。

※　高校生以下のお子様は無料ですので、是非、ご家族でお越しください。

＜ワークピア横浜案内図＞



お手数ではございますが、ご都合の程を同封のハガキにて　11月10日(水)までにお知らせください。

また、当日は駐車できませんのでお車でのご来場は固くお断り申し上げます。

(光陵高校から懇親会会場までの交通手段は光陵会で用意します。)

※ ご不明な点は光陵会ホームページをご覧ください。

URL: www.koryokai.jp

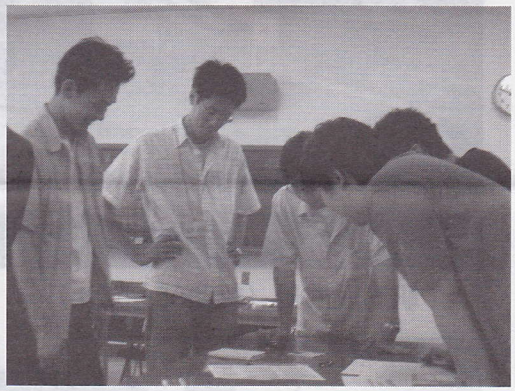
光陵会？～その仕事～

本来ならばこの欄にて、光陵に縁をお持ちの方の原稿を掲載させて頂いています。しかし今回は、あまり知られていない光陵会の活動について御報告させて頂こうかと存じます。

まず始めに、我々幹事の行っている主な仕事を年間の流れからご紹介させて頂こうかと存じます。まず、３月に新メンバーを迎えての第１回幹事会を開催します。その時に、特集記事の企画立案と、年間の主な仕事に対する割り振りをします。翌月より総会の日程の調整と会報記事の作成が開始されます。本年は４月に会員名簿の住所変更等に〆切がございました。８月頃に、会報記事の校正が始まり、９月に発送できるように外部への依頼をさせて頂いております。また、第２回幹事会をこの頃開催します。例年１０月から１１月頃にかけて、総会を開かせて頂いております。今年は１０月に開催された光陵祭にも展示という形で参加させて頂きました。そして、総会が終了後は、光陵高校新卒業生のための説明会及び、新入会員の集計が主な仕事となります。

さて、光陵会の最大の仕事といえば「総会・同窓会の企画運営」といえます。毎年１１月半ば頃に開催させて頂いておりますが、私が携わったここ数年は、それ以前よりも参加して頂ける方も増え、内容も少しずつ新しい風を取り入れ変化してきています。昨年に至っては、我らが母校「光陵高校」の一室を借りての総会と、懐かしの先生による講演を企画いたしました。また、場所を移しての同窓会も、ご好評をいただきました。

次に、皆様が現在お手に取られお読み頂いている、会報「ごんた坂」の記事を書いているのも我々幹事です。会報では常時記事を募集しておりますので、何かございましたら光陵会にご連絡下さい。



また、今年は文化祭への出展も行いました。光陵会の紹介と、スタッフの紹介を主とする展示です。これは初の試みであり、いろいろ上手くいかない面もありましたが、団結することで乗り切ることが出来ました。

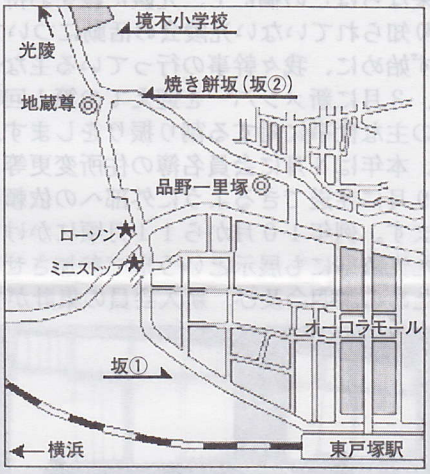
さらに、光陵高校の進路指導課の先生方と連絡をとり、卒業生と高校とのパイプ役という働きも持ち始めました。

ところで、光陵会幹事会で普段活動しているスタッフは主に学生です。学生では賄いきれない所を、社会人の方のお力をお借りして運営しております。また、男女比も大体３：２位の割合になっております。活動日としましては、毎月１回から２回、定例会として光陵高校に集まり、打ち合わせや原稿作成を行っております。定例会の流れとしては、午前十時頃に集合し、受け持ちの仕事を開始します。昼を過ぎてからは、近況報告等をしながら段取り等の打ち合わせをします。午後五時に光陵高校での作業は終了し、その日の労をねぎらうために打ち上げと称してネオンの光の中に消えていきます。

我々光陵会スタッフは、会員の皆様のご活躍、母校「光陵高校」の発展のため、粉骨砕身の努力で頑張らせて頂きたいと存じます。

最後に皆様へのお知らせがございます。光陵会は皆様が同期会を開催されますときに、ご協力できるよう準備させて頂いております。出席葉書等に使う宛名シール出力の代行を承っております。同期会単位となりますが、ご相談下さい。今後提供させて頂けるサービスを増やしていきたいと思います。会員皆様の御意見御要望をお持ちしております。

特集　東戸塚の変遷



光陵高校が創立して来年で40周年になります。今の場所に移ってからは33年の歳月が流れ、光陵高校周辺の風景もその流れに乗って変化してきました。今回は東戸塚の通学路からその一部を見てみようと思います。

一面田畑が広がっていた東戸塚に、昭和55年に東戸塚駅が完成しました。しばらくすると、今も光陵生の大事な足となっている、境木中学校までのミニバスが開通しました。そして平成11年、駅前に広がっていた景色が一転する事になります。

それはオーロラモールの完成です。

ダイエーと西武だけでなくあらゆる店舗が入っており、休日には屋上でフリーマーケットも開かれています。ここのエスカレーターは坂（①）に苦しんでいた光陵生の強い味方となっています。

駅周囲風景（昭和55−56年）

駅周囲風景（現在）

エスカレーターを昇りきり、家々と木々に囲まれた静かな旧東海道を左に進み、品野一里塚を通ると、かつて最大の難所であり、今も光陵生を苦しめる心臓破りの坂、「焼き餅坂」（坂②）が姿をあらわします。しかし、以前は木漏れ日が差し込むだけだった薄暗い坂も、現在ではマンションの建設で山が切り開かれ、直接日が差し込むようになりました。

オーロラモールができる以前の通学路も変化してきています。駅を降りて左に進み、長くだらだらと続く坂（①）を上ると、以前は森が待ちかまえていた場所も、山が削られ、環状２号線が通り、左右に次々マンションがそびえたつ近代的な町並みへと変化しました。細い曲がり道だった境木地蔵尊の前も整備が進み、広く走りやすくなっています。

境木中学校から光陵へのあの細い道も、整備される日がくるのでしょうか。

都会化が進み便利になっていくのを喜ぶべきか、無くなっていく自然を悲しむべきか、意見が分かれそうです。

光陵会会計報告

2002年度決算

〔収入の部〕

入会費・終身会費	2,630,000
同窓会会費(*)	404,000
賛助金	58,000
名簿売上	8,000
前年度繰越金	9,216,861
合計	12,316,861

(*)同窓会会費について

一般	6,000x66名	396,000
学生	2,000x1名	2,000
配偶者	3,000x2名	6,000
合計		404,000

〔支出の部〕

通信費	922,507
印刷費	426,765
事務費	13,817
運営費	317,423
交通費	33,620
同窓会費	427,469
HP運用費	11,802
合計	2,153,403

収支差引金額 10,163,458

2003年度予算

〔収入の部〕

入会費・終身会費	2,900,000
同窓会会費	300,000
賛助金	50,000
名簿売上	400,000
前年度繰越金	10,163,458
合計	13,813,458

〔支出の部〕

通信費	1,000,000
印刷費	600,000
事務費	258,000
運営費	350,000
交通費	70,000
同窓会費	400,000
HP運用費	60,000
合計	2,505,000

収支差引金額 11,308,458

この度、光陵会運営のため賛助金を募りました。以下の通りみなさまの温かいお心遣いをいただきましたことを深く感謝いたしますとともに、ここにご報告します。
今後も引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

光陵会賛助金芳名簿

＊敬称略／平成16年8月31日現在

原　和子（特別会員）	山本　明（12-7）	伊藤 永子（15-9）	鈴木 篤史（25-2）	有志
山本 倫子（9-3）	屋代 通子（13-8）	勝又 俊介（25-1）	原　正樹（35-4）	

進路状況

今年も光陵生は頑張りました!!

〈国立・公立大学〉

学校名	総数	現役
鹿児島	1	0
静岡	2	2
千葉	3	2
筑波	4	3
電気通信	1	0
東京	1	1
東京外国語	2	0
東京海洋	1	1
東京学芸	1	0
東京芸術	1	0
東京工業	4	3
東京農工	2	2
北海道	2	1
北海道教育	1	1
山口	1	1
横浜国立	10	6
神奈川県立保険福祉	4	2
静岡県立	1	1
東京都立	2	2
横浜市立	8	3
その他	9	1

〈私立大学〉

学校名	総数	現役
青山学院	31	19
麻布	1	0
学習院	3	2
神奈川	22	12
関西	1	0
北里	13	7
共立薬科	3	3
慶應義塾	30	18
国際基督教	3	0
駒澤	7	5
芝浦工業	22	7
上智	15	5
昭和	4	1
昭和薬科	9	3
成蹊	6	3
成城	9	6
専修	6	4
中央	30	18
東海	5	2
東京工科	4	1
東京造形	3	2
東京電機	6	1
東京農業	16	12
東京薬科	1	0
東京理科	35	11
東邦	8	3
日本	22	12
日本女子	11	8
法政	24	8
星薬科	8	4
武蔵工業	15	7
明治	49	22
明治学院	17	9
立教	27	15
立命館	6	5
早稲田	49	20
その他	86	29

部活実績

バスケットボール	平成15年　横浜地区ブロック大会 準優勝
サッカー	平成15年　全国高等学校選手大会2次予選進出 ベスト8
ハンドボール	平成15年　横浜市大会 準優勝
陸上	平成15年　県高校総体　110mハードル 知久正明　7位
テニス	平成15年　横浜地区男子3部 準優勝
演劇	平成15年　県大会優秀賞・市大会優勝賞 審査員特別賞　作山琴
囲碁	平成15年　全国総合文化祭団体（大将） 播口陽介　13位
	平成15年　全国高校囲碁選手権代表 古賀　圭　6位
	平成15年　関東大会 古賀　圭　3位
	平成15年　関東大会神奈川地区予選 団体優勝
	平成16年　全国高校囲碁選手権　個人戦 古賀　圭　5位
	平成16年　全国高校総合文化祭　団体戦 主将　古賀　圭　5位

平成15年度異動

【転出・退職】

校　長	石渡　哲男	（３年）	退職
教　頭	坂東　哲夫	（２年）	退職
理　科	河井　正澄	（12年）	大井高等学校
体　育	荒井　一夫	（12年）	湘南高等学校・定時制
社　会	荒川　宏	（11年）	川崎県税事務所
体　育	荒井　康允	（11年）	横浜清陵総合高等学校
英　語	栗原　義次	（11年）	旭高等学校
国　語	大野　初美	（８年）	希望ヶ丘高等学校
数　学	上森　公二	（３年）	大清水高等学校
数　学	淡路　由雄	（２年）	退職
教員補助者(体育)	畠山　奈央		
教員補助者(家庭)	松本　恭子		
非常勤講師(家庭)	杵渕　真幸	（９年）	
事　務	萩原　正樹	（３年）	生田東高校
事　務(臨時)	徳田　智恵美	（半年）	
技能技員	松本　英男	（５年）	横浜清陵総合高等学校

【転入】

校　長	田邊　克彦	教育庁から
教　頭	石塚　昭司	鶴嶺高等学校から
社　会	関口　正昭	平塚養護学校から
理　科	栗原　浩	寛政高等学校から
保健体育	竹内　美香	荏田高等学校から
保健体育	森田　昌宏	平安高等学校から
事　務	松橋　義富	霧が丘高等学校から
技能技員	渡邊　実	鶴見養護学校から
事務・臨任	久喜　香織	
司書・臨任	野田　妙子	
非常勤講師(書道)	重田　公平	
非常勤講師(数学)	淡路　由雄	
非常勤講師(家庭)	渡邊　俊江	
教員補助者	倉田　三輪	
警備員	佐々木　隆	

＊（　）内の年数は、本校在職年数を示します。

≪会員名簿の取扱について≫

光陵会の名を騙り、会員の皆様の勤務先の問い合わせや勧誘・物品販売等様々なダイレクトメール・電話勧誘があるようですが、光陵会とは一切関係ございませんので、内容をご確認の上でご対応下さいますようお願い申し上げます。

また、当然のことながら光陵会では会員の方以外には名簿を販売しておらず、会員各位のデータが外部に漏れないよう、細心の注意を払い対応しております。皆様も名簿の取扱には十分注意の上、外部流出のないよう重ねてお願い申し上げます。

加えて、お知らせ申し上げます。今回、新名簿発行にあたり株式会社アーツに印刷、販売等を委託しましたが、既に在庫を保有しておりません。**株式会社アーツ**にお問い合わせいただいても、ご返答できません。何かございましたら、光陵会にお問い合わせ下さい。

宛先：〒240-0026
横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1
神奈川県立光陵高校内「光陵会」
mail：staff@koryokai.jp

≪寄稿のお願い≫

光陵会では、会員の皆様に楽しんでいただけるような会報「ごんた坂」を目指しております。とはいいましても、創刊からまだ第９号。どのような記事を書けばよいものか、役員皆頭を抱えております。

そこで、会員の皆様にお願いです！**会報記事の寄稿へご協力ください！**「私は今、こんなことをしています。」とか「光陵のOB・OGでこんな活動をしているよ。」など、どんなことでも結構です。寄稿という形ではなくても「いついつに○○を開きます。」などの情報でもOK！　お気軽に下記「光陵会」までご一報ください。

光陵会では、会員の皆様の活動を応援します！

宛先：〒240-0026
横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1
神奈川県立光陵高校内「光陵会」
mail：staff@koryokai.jp

≪賛助金のご協力をお願いします≫

毎年賛助金のお願いをしております。今年8月31日までに総計76,000円もの賛助金をいただき、役員一同皆様のご理解とご協力に感謝しております。このことにつきましては光陵会運営資金残高が1,000万円を超えていることから、賛助金をご依頼させていただくことについて疑問であるとの貴重なご意見もいただきますが、長期的に見ますと依然、運営資金の逼迫する危機が迫っている状況にあるため、今年度も引き続き以下のように会員の皆様から賛助金を募ることに致しました。何卒、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

１、金　額
　　１口　1,000円　何口でもかまいません。
２、お支払い方法
　① 郵便振込
　　口座番号：00220-5-0021817
　　加入者名：光陵会
　② 銀行振込
　　横浜銀行緑園都市支店
　　口座番号：367-1187951
　　名 義 人：光陵会

・あ・と・が・き・

『ごんた坂』第９号はいかがでしたでしょうか？オリンピックの熱気と夏の暑さに負けないくらい、私たちも頑張っています。私たちは会員の皆様との架け橋となるべく、今年は光陵祭にも初の参加をいたしました。

光陵会の活動に関するご意見・ご感想がございましたら、「光陵会」までお寄せください。また、**光陵会公式ホームページ**（http://www.koryokai.jp）でも様々な情報を発信しております。よろしければ、ご覧ください。

会員の皆様のご多幸をお祈りしつつ、後書に代えさせていただきます。